

北九州
市議会議員

無我夢中

大久保むが
市政レポート

No.8

大久保むが市政相談所

〒807-0866

北九州市八幡西区則松 2-9-2

TEL:093-863-5530 FAX:093-863-5531



新年挨拶

あけましておめでとございます。旧年中は大変お世話になりました。

昨年は新型インフルエンザや口蹄疫、豪雨に猛暑など自然を相手にした大きな災害などが相次いだ年でした。

私たちの身近な暮らしの中でも、こうした環境にまつわる出来事が多くなってきました。光化学スモッグや黄砂など大陸から受ける公害などは、もはや国境など関係のないものになってきています。

今を生きる私たちの責任は、未来に生きる子供たちに不安のない社会を残すことだと思います。

本年2月には北九州市長選挙も行われます。人にやさしいまちを目指す北九州市の次の市長の4年間の始まりです。北橋市長のこの4年間の取組をしっかりと評価し、次の4年間の飛躍へ向けて頑張ってください。

初当選以降、この2年間は新人だからと言いきれませんでした。後半の2年間は初心を忘れないように、そしてこの2年間にまわって皆様のご期待にお応えできますよう努力して参ります。本年もどうぞ温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

大久保無我

北九州市議会
12月補正予算案を可決

12月議会（11月29日～12月7日）が開かれ、総額67億2,173万円の市長提出議案を賛成多数で可決しました。日本国内の多くの地方自治体は財源の捻出に苦しんでいます。それは北九州市も例外ではありません。

お金は石油のように湧いてくるものではありません。国の経済危機対応・地域活性化準備費や国の一次補正予算をうまく使い、財源を捻出します。自主財源の乏しい自治体にとっては当然の手段といえます。

市民としては、単純に14.6億円の債務負担行為という次年度予算の前借りが増えることは紛れもない事実ですが、本市の財政状況を慎重に考えながら、経済状況に配慮した（公共事業を減らさない）バランスのとれた補正予算と言えます。

渋滞緩和に向けて

北九州市は国から「環境モデル都市」の認定を受け、そして新たに「低炭素社会」という地球にも人にも優しいコンセプトで取り組みを進めています。

ノーマイカーデーやコミュニティサイクルなど自動車に頼らない社会も目指しつつありますが、現状を考えるとやはり、自動車にもまだまだ重要な役割があるといえます。今回の補正では交通円滑化のために道路の整備や橋梁補修、交差点改良等（50路線）に要する経費が計上されています。主なところでは国道199号線（砂津）3億9,000万円や国道211号線（町上津役）1億1,000万円などで、国道以外では都市計画道路七条5上本町線2億4,000万円や日明〜渡船場線2億円などの計画があります。

一般会計補正予算案	56億2,173万円 (債務負担行為14億6,223万円)
普通会計	2億円
特別会計	9億円
企業会計	9億円
総額	67億2,173万円 (債務負担行為14億6,223万円)

- ◎ 緊急経済・雇用対策関連 (54億9,989万円、債務負担行為5億3,533万円)
- ◎ 給与改定等による人件費補正 (-1億4,658万円)
- ◎ その他 2億6,842万円、債務負担行為9億2,700万円

待機児童ゼロに向けて

低炭素社会と道路整備事業は一見相反するように感じますが、目指すべき低炭素社会をしっかりと見据え、雇用や経済の動向を踏まえつつ議論を深めていくべきと考えます。

よく子育て中のママさんから「北九州市の保育所は待機児童がほとんどいないというが本当か？」という問い合わせがよくあります。答えは○です。ただし、待機児童はほとんどいませんが、待ち児童は数百人規模でいるものと推察します。

そもそも待機児童の定義ですが、通所30分以内に受け入れられる認可保育所がない児童を待機児童と呼びます。本当に理解しにくい制度です。近所に保育所がたくさんあっても、そこが満員なら30分離れた保育所が空いていれば、通いなさいという制度です。

男女共同参画や、ワークライフバランスと呼ばれて久しいですが、今の保育制度は今の時代に合っているとは言いがたい部分があります。今後は、国が議論している「子ども子育て新システム会議」を注目しつつ、保育所の新設や定員拡大を求めていきます。

今議会では、保育所の適正配置（2.8億円）が計上され、市内の保育所の改築や、新設が具体的に進みます。

意外と知らない、北九州市の医療体制



テレビや新聞で、救急車が急患を運ぶ時に、救急病院がいつばいで受け入れてもらえずたり回しに回しに回したり、それによって不幸にも患者さんが亡くなってしまうとか、過疎の村や町で、医師不足によって満足に診療を受けることができない、などのニュースを見たり聞いたりします。

本市でも市立若松病院の売却や、市の病院会計の赤字問題など、私たちの日々の医療体制について関心が高まっています。しかし、意外と私たちの街の医療体制について知らないことが多いのも事実です。北九州市の地域医療の現状についてレポートします。

医療機関の数は全国上位



北九州市の医療機関は病院が89ヶ所、診療所が973ヶ所あり、全国17政令指定都市で比較した場合、人口10万人当たりの医療機関数は病院が第2位(9.2)、診療所が第5位(99.2)であり、全国平均の病院6.9、診療所

77.6を大きく上回っています。また病床数を17政令市で比較した場合、人口10万人当たり病院病床数は第2位(940.3)、診療所病床数は第1位(197.1)であり、これも全国平均(病院1260.4、診療所114.8)を大きく上回っています。

心配されている医師不足について、市内の医師の数は297人となっており、同じく人口10万人当たりの医師数は301人で17政令市中第5位となっています。

日本最高水準の地域医療システム



北九州市では、北九州市医師会をはじめとする医療関係者の協力のもと、全国に先駆けて患者の状況に応じた3つの段階からなる救急医療体制を整備しています。

① 第1次(初期)救急医療

初期救急医療は、かかりつけ医などによる対応のほか、2つの夜間・休日急患センター(小倉北区・八幡東区)

小児救急センター(八幡東区)、市内2ヶ所の休日急患診療所(門司・若松)で対応しています。また深夜帯は病院による輪番制で診療を行っています。

② 第2次(重症)救急医療

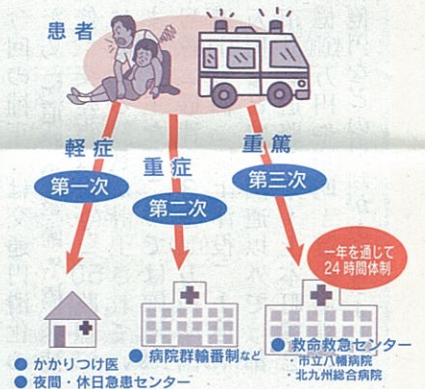
第2次(重症)救急医療は、市内17病院が1日1病院の輪番制で休日や夜間の入院医療が必要な重症患者を受け入れる病院群輪番制をとっています。

さらに、当番病院で対応できない場合は、患者の症状に応じ、市内30病院(機能別応需病院)が24時間受け入れるような体制をとっています。

また「未熟児・新生児救急医療体制」や「眼科・耳鼻咽喉科救急医療体制」も整備するなど、他市にはない本市独自の医療体制をとっているのも特徴的です。

③ 第3次(重篤)救急医療

第3次(重篤)救急医療は、八幡東区の市立八幡病院と、小倉南区の北九州総合病院の市内2ヶ所を「救命救急センター」として、1年を通じて24時間体制で対応しています。



医療体制は地域全体で考えていかなければ、とてつもない高コストになってしまいます。北九州市は市内にある医療機関の連携体制をうまく構築することにより、高度・救急・周産期医療などでは全国屈指の体制を整え、他都市と比較してもその優れた仕組みは誇れるものがあるといえます。

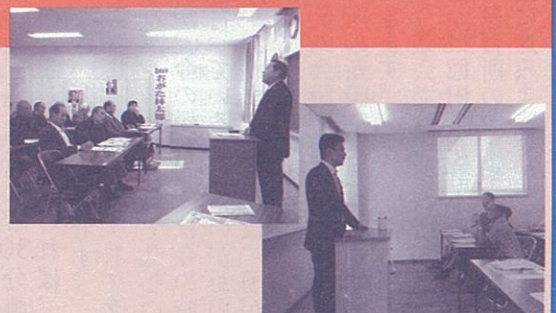
また心配されている医師不足という状況も、かつて市立若松病院において一時期発生したものの、産業医大に引き継がれたことによって改善が見込まれ、医師不足が深刻な状況は起こっていません。また救急救命においても、救急車がたらい回しにあうといった状況なども発生していません。

地域医療の充実には私たちの日常生活の安心には絶対に欠かせません。引き続きこうした医療体制を堅持して、本市の誇るべき医療体制を大いに発展させていかなければなりません。

報告会を開催しました

9月5日・9月11日・9月18日・11月20日・11月27日の日程で、緒方林太郎衆議院議員、岩元かずよし福岡県議会議員とともに、八幡西区の各地で国政・県政・市政報告会を開催致しました。

今後も引き続き八幡西区内で市民の皆様への報告活動を行って参ります。



視察報告

(香川県高松市丸亀商店街)

全国的に地方都市の疲弊、市街地の拡大による中心市街地の商店街の衰退が言われています。全国で成功している商店街はわずか数%しかないと言われています。そんな中、見事に商店街の再生に成功し、全国から注目を集めている香川県高松市の丸亀商店街を視察してきました。



拡大する市街地



高松市は人口約42万人、四国の北東に位置し香川県の県庁所在地でもあります。丸亀商店街はその高松市の商業地区の中心にあります。



しかし、市街化調整区域の撤廃により市街地が一気に郊外へと広がり、さらに郊外へと広がった市街地に大型のショッピングセンターが相次いで進出をしたことで、中心市街地の商業機能は郊外型の大型ショッピングセンターとの競争の中で埋没することとなりました。

商店街を本来の姿にもどす



こうした状況に危機感を募らせた丸亀商店街の人たちは、商店街を再生させるための取り組みをはじめました。まず、商店街振興組合の機能強化、さらにこれまで地方で失敗してきた商店街振興策などの研究を徹底的に行い、ひとつの結論に達したといえます。

それは「再開発をつくることではなく、お客様に必要とされる街になること」
商店街の本来の姿は、日々の生活に必要な物資をそろえるところだといえます。市街地の

郊外化がすすむ前は、中心地を取り囲むように住宅地があり、その住宅地に住む人たちが商店街で生活に必要なものをそろえていたのですが、いつしか市街地の郊外化により、買い物は車で郊外のスーパーやショッピングセンターなどに行くのが当たり前になり、中心地の商店街に足を運ぶことも少なくなりなりました。それが商店街の売り上げを下げる要因となり、その結果商店の減少が求心力の低下を招き、いわゆるシャッター商店街と言われる状況が全国各地に出現したというのが、いま日本で問題になっている中心地の商店街の状況だと考えられます。

画期的なまちづくり株式会社



丸亀商店街はこうした状況を踏まえ、まず日常の買い物をする人たちを確保すること、必要とされる店舗をそろえることが必要であるとし、まさに必要とされる商店街づくりに着手しました。

丸亀商店街の特徴的な取り組みは、まずまちづくり会社を設立し、商店街の土地の所有権と利用権の分離を図り、その利用権をまちづくり会社がすべて引き受けたということです。これによりまちづくり会社は、消費者のニーズに合ったテナントの誘致が行えるようにな



らに、商店街の上空の空間が高度利用されることにより、その地区から得られる税金も数倍に増え、結果として行政が補助金を出したとしてもじゅうぶんに効果があった事業になったそうです。

高級テナントが集まるほどの再生



この商店街を歩いて驚いたのが、商店街の一部に設置された広場の周辺に高級ブランドショップが多く配置されていたことです。



商店街のすぐ近くには大手のデパートもあり、こうした高級ブランドショップが商店街の中にあるということは、この商店街の強さのようなものを感じることもできます。四国にある決して大都市ではない地域にも可能性を見出しているということに、地道な取り組みの成果と見ることができ、大きな衝撃を受けました。



「福岡県議会議員
岩元一儀さん、
ますます元気に
頑張ってます！」

旧年中のご支持ご支援に
心より感謝致します。
お蔭様で、今年4月で丸
2期8年の県議任期を終え
ようとしています。

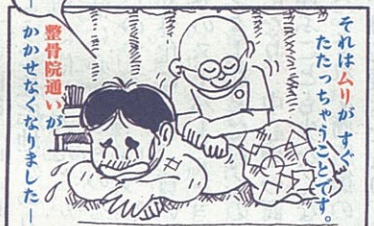
今年も「福祉・子育て・
人づくり」の政策が推し進
めますよう頑張るつもり
ですので、大久保むが市議同
様宜しくお願い致します。
また、何卒後援会入会活
動などご協力をお願い申
上げます。
本年も皆様のご健勝ご多
幸をお祈り致します。

福岡県議会議員
岩元かずよし



キタQに
無我夢中
No.8

今の僕があるのは…の巻



北橋市長、マニフェストを着実に実行!!

- ① 乳幼児医療費支給は、通院で就学前まで、入院で小6までに拡大。
- ② 市に「子ども家庭局」を新設。総合的な子ども施策を推進。
- ③ 中学校完全給食を実施(平成 23 年度で全学校実施予定)。
- ④ 放課後児童クラブの全児童化を推進。
- ⑤ 緊急雇用対策本部を設置。3400 億円を超える対策事業を推進。
- ⑥ 特別養護老人ホームなど 1054 人分の高齢者施設を新たに設置。
- ⑦ 公共事業は市民生活に身近な事業へ重点化。
- ⑧ 安心安全のまちへ「暴力団排除条例」を制定。
- ⑨ 「いのちをつなぐネットワーク」を開始。
- ⑩ 明日の農林水産業を考える懇話会を設置。

など

緑の成長戦略

北橋市長はこの4年間、子育て・福祉・教育・環境などのマニフェスト関連事業に4年間の合計で約912億円を予算化、実施してきました。
その一方、年間100億円を超える厳しい経営改善も実施。過去の借金返済のピークである平成21年度を乗り切り、持続可能な財政への道筋をつけました。



財政の立て直しに目処がつき、いよいよ飛躍の準備が整いました。「グリーンフロンティア」を合言葉に、「ものづくり」と「環境改善」で培った技術と経験を生かして、アジアの環境未来都市・北九州市を目指しています！北橋市長、ますます頑張っています！

10・11・12月の活動記録

10月

- 1日 黒崎副都心迷惑防止重点地区過料適用セレモニー
アルモニウムサンクスレイユホール
(旧九州厚生年金会館) オープニングセレモニー
- 2日 ギラヴァンツ北九州観戦
- 3日 市民いっせいまち美化の日清掃事業
- 7日 八幡東西合同戦没者追悼式
- 8日 環境にやさしいまちづくり特別委員会
穴生まつり開会式
- 9日 第22回黒崎宿場まつり
第2回曲里松並木電照松・街道まつり
春日台第5回健康まつり
- 11日 民主党学生部街宣活動
- 13~15日 夕張出張
- 17日 一宮神社秋祭り
北九州市都市緑化祭
福岡市長選挙公開討論会
- 19日 第2回工場萌えツアー
- 20日 市議会会派団会議
市議会政策勉強会
- 21日 総務財政委員会
会派勉強会
- 22日 地域主権シンポジウム
- 23日 民謡の会にて挨拶
東芝秋祭り

- 24日 北九州市立大学同窓会
岩元一儀県政報告会
- 27日 黒崎はしご酒大会
- 31日 グラウンドゴルフ大会
穴生地区敬老会

11月

- 3日 民主党福岡9区総支部常任幹事会
- 5日 北九州市青少年問題協議会
まつり企業祭八幡開会式
- 6日 陣山市民センター文化祭
- 7日 北九州中央卸市場 市場祭り
筑前木屋瀬宿場祭り
- 11日 総務財政委員会
- 12日 市議会政策立案支援事業講演会
青本要望勉強会
- 14日 北九州青年会議所環境モデル都市
JCサミット
- 15~17日 市議会会派視察(香川県~徳島県)
- 19日 民主党福岡9区総支部常任幹事会
- 20日 国政・県政・市政報告会
- 21日 エコフェスタ in 洞南
- 23日 民主党福岡9区総支部常任幹事会
- 24日 地方議員のための政策力アップ講座
- 25日 東京出張
~青本要望(政党本部への予算要望活動)
- 26日 グラウンドゴルフ大会

12月

- 4日 八幡西区消防団反省会
- 5日 ふれあいフェスタ
第13回手話フェスティバル
アドベンチャーブリックグラウンド
- 6日 実行委員会総括会議
- 8日 市議会政策審議会会議
- 9日 広島県世羅町視察
- 10日 市議会会派団会議
八幡西文化協会コンサート
- 11日 民主党福岡9区総支部常任幹事会
若松鉄人 JAZZ
- 12日 民主党福岡9区総支部定期大会
- 13日 市議会政策審議会勉強会
- 14日 応急手当のための心臓蘇生法講習会
- 15日 北九州都市高速道路尾倉ランプ開通式典
市議会政策審議会勉強会
- 18日 工場萌えツアー「さよなら第17若戸丸」
- 19日 北九州市環境首都検定
- 24日 馬場山採石場視察
- 27日 市議会政策審議会勉強会
- 28日 仕事納め

◎この市政レポートは、市議会各派に交付される政務調査費と後援会費を用いて作成しています。 ◎この印刷物は再生紙を使用しています。
◎重複して送付されたり、宛名変更がある場合は、お手数ですが大久保むが事務所までご一報ください。